

建築保全センター 2017年度公共建築月間 記念講演会

複合文化施設建築で地域再活性

市民と対話し、地域特性や場所愛を引き出す



新居千秋氏 代表取締役

建築保全センターは、平成29年度公共建築月間「記念講演会」を開催した。...

私たちは37年前に事務所を開設しました。これまで民間建築37件、公共建築36件を手がけています。...



基本構想、基本計画作成は、銀行系のコンサルディング会社を、大手設計会社系コンサルトが担っています。...

地域にたった一つの建築を手がけてきた経験を活かして、複合文化施設をつくる。...

愛され続ける施設提供。私が学生のころから考えていたこと、多機能公共施設が、大船渡市民文化センターに実現した。...

その上で、模型などをつくり、どんな建物が欲しいか、どんなところで動かしたいか、何が気に入らないかといったことを掘り下げていきます。...



尾島 俊雄氏

2017年度の公共建築月間の記念講演は「建築のレガシー」シリーズ第2回として、新居千秋都市建築設計代表取締役の新居千秋氏に講演をお願しました。...

「これからの公共建築は地域のレガシーでなければいけない」という視点で昨年、実施した建築のレガシーシリーズ第1回では、首都大学東京名誉教授の深尾精一先生に世界の視点から「次世代に残すべき公共建築、残すべき公共建築」について語っていただきました。...

今回、レガシーシリーズ第2弾として、建築作家として強固なネットワークと、建築作家を生み出し続ける新居千秋氏に登場いただきました。08年に完成した右手奥の「大船渡市民文化センター」市立図書館「リアスホール」、11年に完成した秋田県の一由利本荘市文化交流館「カターレ」など、コンパクトな敷地を駆使して、独自のフォルムを生み出しています。...

大船渡市民文化センター、市立図書館。由利本荘市文化交流館。私たちが36件の公共建築を手がけてきた経験を活かして、複合文化施設をつくる。...

こうして利用者拡大、活動の多様化を図り、地域の方に愛される施設、地域文化発信のコアとなる施設をつくり上げてまいりました。...

健全性の評価の簡易な劣化診断の中間報告

国土交通省 大臣官庁官庁営繕部 計画課 保全指導室長 植木 暁司氏。国土交通省官庁営繕部では、①施設整備②各省庁への技術指導を実施している。...

ベンチマーク研究会の報告—会議室等の利用分析と改善提案—

建築保全センター 保全技術研究所 第三研究部 専門員 門脇 章子氏。当研究会は、公共建築のベンチマーキングの効果的実践のための手法の開発と環境の整備、試行等を目的に2012年に発足。...

公共建築マネジメント状況調査の報告

建築保全センター 保全技術研究所 第一研究部長 井上 高秋氏。公共施設等総合管理計画（行動計画）から個別施設計画の策定に移行し、この策定などに役立ててもらえるよう、自治体へのフィードバックを主な目的として実施している。...

たてものなが〜くたいせつに (一財)建築保全センターは 建築物の維持管理、改修、施設マネジメントなどの保全に関する調査研究、企画立案、技術開発等の業務を通して 公共建築物の適切な保全を支援します。 建築保全センター BMMC Building Maintenance & Management Center